

第6学年保護者様

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査結果について

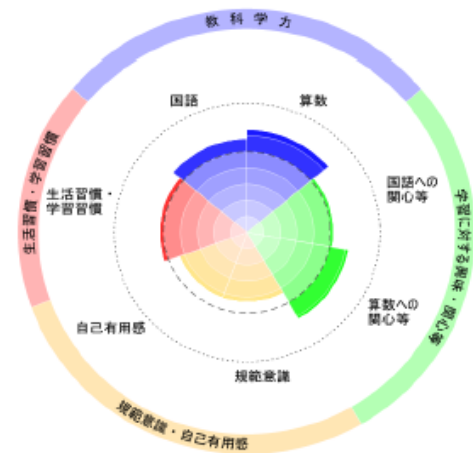
横浜市立豊岡小学校
校長 松本 稔

平成31年4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校の取組についてご説明します。

なお、今回の結果により測定できるのは、学力特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。この調査結果にとらわれすぎることなく、児童一人ひとりの力をつけることに引き続き取り組んでまいります。

保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をしていただけるよう、お願いいたします。

〔児童生徒〕
児童質問紙(全国基準)



(1) 教科学習状況調査結果

平均正答率

	国語	算数
豊岡小	71	76
横浜市	63	69
神奈川県	61	67
全国	64	67

本年度よりA・Bの区別がなくなりました

全国の正答率と比較して結果に特徴のある項目・問題

国語

- ほとんどの問題において5～10ポイント全国平均を上回っている。
- 特に「読むこと」は、全国平均を12ポイント上回っている。
- 「情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える」問題のみ、全国平均を2ポイント下回っている。
- 漢字を使って書き直す問題では、無回答率が15ポイントと高く、全国平均を大きく上回っている。

算数

- すべての問題において全国平均を上回っている。
- 特に「数量や図形についての技能」は、全国平均を12ポイント上回っている。
- 「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述する」問題では、無回答率が14ポイントと高く、全国平均を上回っている。

(2) 各教科結果の分析

国語・算数ともに、正答率は高く、ほとんどの問題が全国平均を10ポイント近く上回っています。ただ、「自分の考えの理由を明確にして、まとめて書く」ことが弱いと示されていることから、「理由を明確にして書く」ことの指導の充実を図っていきます。

(3) 児童質問紙調査結果より

- 生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）に関しては、90%以上の児童が、よい習慣が身についていると判断できます。また、「家の人と学校での出来事について話をしますか」では、全国平均を10ポイント上回っています。
- 学習意欲に関しては、特に算数において、全国平均を大きく上回っています。基礎・基本の定着を図り、学習意欲がさらに向上していくように努めます。
- 学習習慣に関しては、「学校の授業以外にどれくらい勉強をしますか」では、3時間以上と答えた児童が、全国平均の3倍以上でした。一方で30分以下と答えた児童が全国平均の2倍います。日々の宿題と共に、自分で計画を立てて学習を進めていけるよう、引き続き指導の工夫に努めます。
- 「図書室や図書館に行きますか」の設問に関して、「ほとんど行かない」と答えた児童が40%近くにのぼります。新聞を読まない児童も60%いることから、本や新聞以外のものから情報を得ていることが推測されます。図書館教育やICT教育の意図的・計画的な取組と共に、情報モラルを含む道徳の時間のさらなる充実により、心の育成に努めます。
- 規範意識に関しては、「人が困っているときは、進んで助けていますか」が、全国平均を7ポイント下回っています。また、学級での話し合いによる解決や自分の取り組みの姿勢に対して、低い数値となっていて、全国平均も下回っています。児童が互いに認め合い助け合って活動する中で、一人ひとりが自己有用感をもてる学級づくり、学年経営を目指します。
- 地域と関わる設問に関しては、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」が、全国平均を5ポイント上回っていますが、昨年度より4ポイント減少しています。「社会科」「総合的な学習の時間」などを通して、地域の理解を深め、まちを愛する児童の育成に努めます。